

わたしたち、社会福祉法人玉柏会は、地域社会の中で「ともに生きる」ことによる「しあわせ」を目指していきます。



玉 柏 会



平成29年12月3日 開催

第43回 社会福祉法人 玉柏会 創立記念式典

(理事長 海野和雄)

特集：玉柏会 社会福祉充実化計画

～福祉セミナー（意思決定支援と行動障害支援）～

目 次

特集：玉柏会主催 福祉セミナー	2-3
玉柏会通信 -創立記念・愛護ギャラリー・ホームページ	4
ほっとステーション -インフルエンザの予防について-	5
動く珈琲屋さん C☆Coffee 開店 /すずちゃんクッキー	5
央原荘(家族旅行) 央原荘へようこそ(慰問・芝生利用)	6
みずず事業所/かしわ寮 活動報告 すずちゃんのひとり言	7
ししはら里の駅/クイズコーナー/通信販売/相談支援	8

社会福祉法人 玉柏会

本部 央原荘 みずず
かりん かしわ寮 すずらん

〒424-0301

静岡県静岡市清水区央原362番地

☎054-394-0311 FAX 054-394-0312



【特集】 福祉セミナーの開催 （玉柏会 社会福祉充実化計画）

「玉柏会では、社会福祉充実化計画として5つの計画を策定いたしました、【福祉セミナーの開催】はそれら計画のひとつですが、本年度は、2回にわたって【知的障害者の支援】をテーマに開催いたしましたので、以下ご紹介いたします。」

● 福祉セミナー開催にあたってのご挨拶

理事長 海野和雄



開会の挨拶をする
海野和雄理事長

最近、テレビ・新聞で障害を持つ方に関わる報道が増えてきたように思います。

自らの言葉で自らの人生や今後の可能性を語る姿は偏見や誤解を解きほぐす推進力になると確信しています。又、マスコミに登場する人達以外の圧倒的多数の方々が、全国で日々自立に向けて苦労しながらも1歩々々歩みを続けています。そして障害に関する科学的知見の普及や特性を発見する支援スキルの練磨等により相互の壁が少しづつ低くなってきていると思います。

一方で差別を助長し正当化するような言動を繰り返す人や団体が国内外に存在しています。又、実態を知らない事による偏見や差別が存在する事も事実です。

これらに対し、全国の社会福祉法人や福祉に携わる人々が、障害を持つ方々の実態や意思、支援交流の様相を世の中にもっともつと発信していく事が大切だと思います。玉柏トモキ会では「共生」の法人理念の下、福祉活動を行ってきましたが、この度、社会貢献事業の一環として「福祉セミナー」を定期開催することと致しました。現在、地域に於いて障害を持った方々など「生きづらさ」を抱えた多くの方が「より自分らしく」又「生きがい」を持って生活していくために、今後開催するセミナーでは、関係者や地域の皆様に、当事者の方々や福祉の制度について広く知って戴く事を目的としています。

● 第1回 平成29年11月15日 開催

テーマ:【知的障害者の意思決定支援について】

講師:古井慶治 氏

「ご本人の意思決定支援とは何？」というところから、意思決定支援の考え方を確認し、どう支援につなげるかをご説明頂きました。

知的障害者を支援する者として、意思決定支援は確実に必要なスキルであり、まずはご本人に相談し、出てきた表現を受け止め、ご本人がどう考えているのかという思いを考える大事さを学びました。

相談支援や成年後見制度の活用についてもご説明いただき、実際に意見を表出していく、またできない方は、相談支援専門員や成年後見人に思いを受け止めてもらい、自己実現を図ることが大切です。

(支援課長 齋藤雅志)



古井慶治先生

グループワーク:【知的障害者の意思決定支援に必要な支援者の基本姿勢】

午後からは、法人内での研修を行いました。

特に意思決定支援のなかには、意思形成支援と意思表出支援があり、ご本人の意思をどう作り出していくのか？また、どう表現してもらおうのか？、意思決定支援には必要なことと学びました。



グループワークの風景
熱の入った話し合いが行われました。

グループ別に課題を考え、話し合いました。支援者は決めつけをなくし、ご本人が決めるためのお手伝いをするという意識を持ち支援する必要性を確認できました。

(支援課長 齋藤雅志)



● 第2回 平成29年12月1日・2日 開催

テーマ:【自閉症の特性とフレームワークを活用した支援】
講師:水野敦之 氏

(静岡市・特定非営利法人静岡市障害者協会・社会福祉法人玉柏会 共催)

フレームワークを活用した自閉症支援

- 1日目 : 自閉症の特性とフレームワークを活用した支援
- 2日目 : 自閉症の特性と行動支援のフレームワーク

昨年2月に実施した水野先生の研修を、今年度も静岡市との共催で2日間に渡って開催することができました。2日とも講演会と演習を実施し、講演では自閉症の方の特性である周りからの情報の捉え方などのご説明をいただきました。また、入所施設穴原荘で取り組むコンサルテーションでは、講義だけでなく、現場において具体的な活動や支援方法も交えてご指導頂く予定です。



配布したパンフレット

1日目 : 自閉症の特性とフレームワークを活用した支援

基調講演

自閉症の方の情報の捉え方や表現方法を具体的に話してくださいました。

演習

自閉症の特性を持つ方の余暇活動の作成を目指し、5~6名でグループワーク演習を実施。余暇の選定と余暇のアセスメントを基に、構造化された余暇活動を実践しました。



2日目 : 自閉症の特性と行動支援のフレームワーク

公演・演習



講演では、自閉症的な視線からの捉え方と冰山モデルの考え方を具体的に説明していただきました。冰山モデルは、行動障害のみならず自閉症の方の行動の見えない部分を“見える化”するための重要な考え方だと学びました。

演習では、5~6名のグループに分かれ、冰山モデルを念頭にシートを作成。そのモデルシートを基に支援計画を作成し、具体的なアセスメント方法を学びました。

最後に・・・

「福祉セミナーは、今後も定期開催致します。知的障害福祉を含め、広く福祉全般をテーマとしてまいりますので、福祉関係の皆様を始め、一般の方々にもご参加いただきたくお願い致します。」





ご利用者様を代表して、片井杏奈様が「私がやりたいこと」を元気よく、大きな声で発表しました。

玉柏会創立の時代を振り返ってみますと、当時は第1次オイルショックが起きこの清水地区でも港湾運輸、造船、木材合板、アルミ製造等の地場産業が大きな打

撃を受けました。高度成長から低成長へと激変する時代の大きな境目の時でありました。

そんな状況下でスタートした玉柏会ですが、当初は手探り・手作りの運営に、初代理事長の7代鈴木与平氏や荘長の新井博氏を筆頭とする役職員の皆様は大変な苦勞をされたと聞いております。

そんな中でも、支援するご利用者の皆様の明るい笑顔と、地道な変化が大いなる励みとなり、ご利用者と共に40年余りの歴史を刻んできました。

創立5周年の時、鈴木与平初代理事長は、この様に述べています。「滋賀県近江学園の園長であった故糸賀一雄先生の名言『この子らを世の

光に』の言葉の如く、我々は入荘者を通じて世相に光を当ててみたいのであります。」

玉柏会の原点はまさにここにあると思います。今、創立時から入所されているご利用者がいらっしやいます。人生の大部分をここで生活されてきました。そして、これから入って来られる方々もいらっしやと思います。

私達は創立時の原点を肝に銘じて、ご利用者・保護者の皆様・役職員三位一体となって、又多くの地域の皆様や協力企業・ボランティアの皆様のご支援の下、自立支援の実(じつ)を一つづつ上げていきたいと思ひます。

今後共よろしくお願ひ申し上げます。

(理事長 海野和雄)

愛護ギャラリーで銀賞と奨励賞を受賞しました。

今年で26回となる愛護ギャラリー(知的障害者アート作品の展示会)に沢山のご利用者が出品しました。みすずは、見事！銀賞を受賞することができました。

みすず:テーマは【宇宙】

壮大なテーマに、最初は難しさを感じましたが、ご利用者の豊かな発想を引き出しました。

宍原荘:テーマは【うごく珈琲屋さん】

廃材に命を吹き込み、珈琲ワゴンに変身させました。実際に施設内で販売をしています。



銀賞:宇宙旅行



奨励賞:うごく珈琲屋さん

(支援員 長谷川未紗)

ホームページの刷新

広報活動のクオリティを高め、地域社会へ向けての法人からの情報提供を見やすくするために、ホームページを刷新いたしました。

今回は、「動きのあるホームページ」を全体のコンセプトとして作成してきたため、トップページが見ていても玉柏会の動きがわかるようになっています。また、「人」を中心とした職員の紹介のページを新たに設け、働いている人が見えてくるように心がけて作成しました。

是非、ホームページをご覧ください。

URL: <http://tamagashikai.com/>



スマートフォンでも見れます。QRコードをご利用下さい。





医務室からの
とっておき情報

**インフルエンザ流行の時期が
やって来ました！！**

インフルエンザのウイルスは、咽頭(喉)で増殖し、発症すると言われています。そのため、うがいや手洗いをしっかりとすることが最大の予防となります。

また、マスクをすることは飛沫感染を防ぐため、人混みに出るときは、人に移したり移されたりしないように、マスクを必ずしましょう。

みなさん規則正しい生活をして、十分な栄養と睡眠を心がけましょう。

(看護師 山本和子)



**新着情報
事業所のホットな話**

C☆Coffee開店！！



ご利用者の作った美味しくて温かいコーヒー ♡ いかがですか？

コーヒー豆を挽くだけでなく、コーヒースタンド(移動式)から手作りで作りました。コーヒースタンドは、今年の愛護ギャラリーで奨励賞を頂きました。福地開様の絵画作品で飾られたコーヒースタンドは必見 ♡ 一杯100円で美味しいチョコレート付きで絶賛販売中です。

「制作して販売する」 一歩ずつゆっくりと取り組みたいと思っています。

(支援員 北條正樹)

**みすず
美味しいお菓子販売中 ♡**

「食べるものが販売できたらいいな」みすずの願いを叶えてくれたクッキーです。すずちゃんのイラストを持参して次郎長通りの「菜の花」さんへ相談に行きました。その場で「型は私がプレゼントするよ」と店主の鈴木さん。味もプレーン・ココア・抹茶の3種類。手作りのぬくもりと美味しさを是非お求めください。ご注文も賜ります。

(みすず管理者 大瀧里美)



すずちゃんクッキー

玉柏会 事業所だより

穴原荘 家族旅行

トヨタ産業技術博物館

あみそ、うなぎ、手羽先出掛けの名古屋めし堪能しました。トヨタの技術はすごすぎる



日帰り

行程

穴原荘=千とせ屋 (昼食)
トヨタ産業技術博物館=穴原荘



名古屋を代表する食べ物と
トヨタの技術を見学しました。
さすが世界のトヨタでした。



秋を満喫 犬山と昼神温泉とりんご狩り

小さな秋と小さな世界 私の祖先!? Monkeyさん
効く一温泉の効能 秋の味覚りんご狩りとアップルパイ

一日目

行程

穴原荘=リトルワールド
日本モンキーパーク=昼神温泉

二日目

昼神温泉=伊那谷道中かぶちゃん村
胸ヶ根=穴原荘



秋の紅葉と秋の味覚を満
喫しました。

アップルパイは母の味!?

かぞくりよう
す〜ごく たのしかった!
今年も恒例の楽しみにしている家族旅行
たくさん食べて、いっぱい楽しい景色が見れました。



すんぷ夢広場 ~ 天下泰平の湯 ~

ゆ〜くりバスの旅 温泉浸かって美味しい食事に舌鼓



美味しい料理と生演奏 ♡ お
風呂もゆったりりのんびり。

天下泰平とはこのことです。

日帰り

行程

穴原荘=すんぷ夢広場 (昼食)
入浴=ドリームプラザ=穴原荘



のんびり伊豆半島周遊の旅

~土肥金山 クリスタルパーク 東京ラスク~
もしかしたらお金持ちに!? ラスクを食べてラクスることを知りました。



一日目

行程

穴原荘=土肥金山
黄金崎クリスタルパーク=堂ヶ島温泉

二日目

堂ヶ島温泉=下田海中水族館
東京ラスク=穴原荘



大判小判が...台風なんて
何のその! ゆっくりのんびり

金銀財宝集めて金持ちだ

穴原荘へようこそ ジョン・ルンバード & 清水菓子組合 & 浜田小サッカー一部



ロックンロールに合わせて、日頃のストレスを
発散だ!! イマジン“想像してごらん”



毎年恒例の清水菓子組合さんと一緒に美味
しいケーキづくりと、大福づくりをしました。



浜田小のサッカー少年団が、穴原荘の芝生
グラウンドを使って、練習をしました。

みずず事業所（就労継続支援B型事業所）

＜喜び～余暇支援～＞

「働く・暮らす」をバランスよく楽しみ住み慣れた地域で豊かな人生を歩んでほしい。

このような思いから作業支援だけでなく、余暇支援を取り入れて働く気持ちをより一層向上していただくために1年に2回の地域資源活用支援を実施しています。

2回のうち1回は図書館・消防署・防災センター・市営体育館など公共施設の利用方法を学び、後の1回はボウリング・カラオケ・居酒屋での食事・中伊豆のサイクルセンター・浜岡の原子力館などの遊びの場を設定します。いずれも四つの選択肢を設定し、ご本

人に選んでいただいたあと保護者の方の了解を得ます。

それぞれ行先の説明をして選んでいただくのですが、ほとんどの利用者さんが友達同士でとかみんなが行くからという理由で選択をされず、行ったことが無いからとか今年はこちらに行きたいなど自分の意志で行先を決めることができるようになりました。

ご家族からは「本当に子供が選んだのですか？それならばうれしいです。今まで、親が選んでいただけと言葉に出せなくても自分の意志が表現できるのですね。」というような感想も寄せられました。これからも利用者の皆さんに驚いていただけるような企画を考えていきたいと思います。

（みずず管理者 大瀧里美）



2017年7月15日
サイクルスポーツセンター

すずちゃんのひとこと



「吾輩は猫である。名前はもうある。私の生みの親は岡直樹さん。育ての親はみずずに集まる個性豊かなたくさんの人である。」

私は、「招き猫」皆さんご存知であろうが、右手で招くのは金運。左手で招くのはお客さん。そう！私は左手で招いている。私の招きのせいだけではないと思うが、実にみずずには多くの優しい人たちが出入りする。

時は平成20年、たしか夏の初めだったと思う。まだ職員も5名。ここをどのような場所にしていこうかとよく話し合いが行われていたんだ。

『縁側のような温かくていろいろな人が集まる場所にしたい』『楽しくてお金ももらえる場所にしたい』『日本一の事業所にしたい』今までもこれからも見守っていきたい。

私はキャットフードもまたたびもいらない。利用者さんの笑顔と笑い声で身も心も満たされる。

みんなに出会えてありがとう。

（すず）



かしわ寮（グループホーム）9月6日～ 3泊4日の旅

男3人の旅

四国編

（愛媛・高知）

第二かしわ寮に住む大室様、松永高之様、渡辺智司様の3名が2泊3日で旅行に行ってきました。毎年当番で行先を決めています。今回は渡辺様が当番でした。まだ行っていない場所で海の幸や温泉を堪能したいとの希望で今回は四国を巡る旅となりました。

高知で本場のかつおやお刺身を頂き、道後温泉では千と千尋の神隠しのモデルとなった道後温泉本館を見学したり、朝晩は温泉で普段の疲れを癒し、レトロな路面電車『坊ちゃん列車』に揺られながら昔の事を思い出したりして、つい昔の思い出話も飛び出したりと普段の生活から一旦離れて皆様それぞれゆったりと過ごし、旅行を楽しまれました。

（かしわ寮 土井友員）

一日目

かしわ寮＝岡山駅＝しまなみ海道＝大三島＝大山祇神社＝松山城＝道後温泉

二日目

道後温泉＝ぽっちゃん列車＝ミュージアム＝高知城＝桂浜水族館＝龍馬像＝ホテル

三日目

ホテル＝粗野のかずら橋＝大坂危峠（遊覧船）＝瀬戸大橋＝新幹線＝かしわ寮





ししはら里の駅

原材料はすべて宍原産 ♡ ♡



毎週火曜日はお惣菜と野菜の販売、木曜日は手打ちそばの販売と惣菜、毎月最終日曜日は地元の野菜を販売しています。

おすすめは何と言っても“自家栽培・製粉の手打ちそば”

打ち立ての蕎麦と旬の野菜の天ぷらとお惣菜のセットです。天ぷらは(春菊 人参 玉ねぎ ヤーコン こんにゃく) 850円

是非、手作りの味をお試しください。

近隣地域の紹介

名称	ししはら里の駅
住所	静岡市清水区宍原885-7
お問い合わせ	054-394-0006
開催日 時間:9時~13時	火曜(惣菜) 木曜(お蕎麦) 最終日曜日(野菜販売)



【この記事に関するご意見やお問い合わせは】

電話:054-394-0311
FAX:054-394-0312
E-mail: sisiharaso@po4.across.or.jp
QRコード



玉柏会では皆様のお声をお待ちしております。

頭の体操 ♡ わかるかな
ワラはワラでも、硬い
ワラはなあに?

- 3月までの予定
- 法人
- 2月4日(販売)
市民交流祭り(ハートピア)
- 宍原
- 2月18日 面会日
毎月 第四火曜日
イベントデー(イオン清水)
- みすず
- 2月23日 3月23日
青空市(みすず事業所)

NEWS 通信

通信販売・受注販売・店頭販売しています。

玉柏会では、障害者の社会移行を支援する静岡県社会就労センター協議会(SELP)の商品を販売しています。今回、同協議会では、静岡県の富士市在住の画家、太田昭様の富士山の画を使用した商品を開発致しました。これらの商品の販売の収益は、障害者の支援に役立てられますので、是非ともご購入をお願い致します。



トートバック

税込 1,400円/1個



デザインクリアファイル

税込 250円/1枚



セルプ茶

税込1缶 130円

ご注文、お問い合わせはお電話で

電話番号 054-394-0311(宍原荘)または、054-353-3999(みすず)

ご相談は、下記の電話へどうぞ!

電話
054-369-5688
FAX
054-340-3566
E-Mail
endo@tamagashikai.com



すずらん

年が明け、卒園・卒業の時期が近づいてきました。いよいよ、新しい生活に向けての準備に忙しくなりますね。
新たに福祉サービスのご利用を開始する方も多いと思いますが、児童のサービスには、「障害児支援利用計画」、成人のサービスには「サービス等利用計画」の作成・提出が義務付けられています。作成は、特定相談支援事業所にて行う事になっておりますが、現在、市内の事業所は、新規の受付が厳しい状況です。ご本人・ご家族が作成する簡易型セルフプランでの対応が難しいケース等、お困りの際には、「すずらん」にご連絡をいただければ、可能な限りご対応させていただきます。

相談支援事業

お悩み・相談なんでも受け付けます

すずらん